

平成26（2014）年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程（社会情報学コース・特別選考枠）
入学試験問題
専 門 科 目

（平成25年8月19日 14：00～16：00）

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・特別選考枠の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は3ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には申し出ること。
3. 解答用紙は5枚ある。第1問・第2問は、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。第3問は、選択した用語ひとつひとつについて、それぞれ1枚ずつの解答用紙を用いること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号（例：第1問）、第3問は問題の番号と選択した用語の番号（例：第3問（18））及び受験番号を必ず記入すること。問題の番号、用語の番号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏 名	

社会情報学（特別選考） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Benkler, Yochai (2006), *The wealth of networks: how social production transforms markets and freedom*, Yale University Press, p. 15

(*) malleable: (of a metal or other material) able to be hammered or pressed permanently out of shape without breaking or cracking.

(1) 下線部(a)の“these”の指す内容を説明しなさい。また、それらの内容に即して、“the emergence of a new folk culture”とあなたが考える事例を挙げて説明しなさい。(合計400字程度)

(2) 下線部(b)に関して、著者が論じる「文化の民主化」について説明しなさい。また、文意に沿って、マスメディアとインターネットが文化に与える影響の異同を述べなさい。(合計800字程度)

社会情報学（特別選考） 第2問

学際情報学府入学後の研究計画を 1400 字程度でまとめなさい。ただし、(1) 研究の目的、(2) 意義、(3) 関連研究との関係、(4) 具体的な研究内容について、項目を分けて記述すること。

社会情報学（特別選考） 第3問

以下の（1）～（18）の中から、3つの番号を選択し、その用語の意味をそれぞれ400字程度で説明しなさい。ひとつの番号について、1枚の解答用紙を用いなさい。その際、必ず選択した番号を解答用紙に明記すること（選択した番号が記載されていない解答は無効とする）。

- （1）反論権
- （2）児童ポルノの規制
- （3）EUデータ保護規則案の「忘れられる権利（right to be forgotten）」
- （4）正力松太郎
- （5）PSB（Public Service Broadcasting）
- （6）ヘイトスピーチ
- （7）民主化の第三の波（the third wave）
- （8）国際関係における従属理論（dependency theory）
- （9）アラブの春
- （10）マネタリー・ベース
- （11）オープン・データ
- （12）ヘクシャー＝オリーンの定理
- （13）自己開示の返報性
- （14）コミュニケーションの2段階の流れ
- （15）標本誤差
- （16）機能的等価物（R. Merton）
- （17）フーコー（M. Foucault）の「統治性」
- （18）アクティブ・インタビュー